

西米良村立村所小学校
CAN-DOリストの形での学習到達目標

小学校外国語科 学習到達目標 (CAN-DOリスト)	
目指す児童像	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を身に付けた児童。
学習到達目標	(1) 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けている。 (2) コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。

5つの領域ごとの学習到達目標					
	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
ア	ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる。	活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができる。	基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができる。	日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	大文字、小文字を活字体で書くことができる。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。
イ	ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができる。	音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かる。	日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。	自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。
ウ	ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができる。		自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができる。	身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	

学年	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
第6学年	ア ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄(思い出、将来のこと、第三者のこと、文化など)について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる。	ア 活字体で書かれた文字の形状を識別し、名前の綴りや身の回りの物に記されている大文字及び小文字を見て、その読み方を発音することができる。	ア 買い物、食事、道案内、旅行などの場面で、基本的な表現を用いて指示、依頼をし、それらに応じたり、断ったりするやり取りができる。	ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄(時刻や日時、場所など)について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、写真やイラストを見せながら単元を通して書き溜めたものをもとに話すことができる。	ア 発音された文字の読み方を聞いて、活字体の大文字、小文字を書くことができる。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を語と語の区切り気に気を付けながら書き写すことができる。
	イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄(行きたい場所、してみたこと、思い出など)について、具体的な情報(季節や場所、数、感想など)を聞き取ることができる。	イ 日本の文化、自己紹介、将来の夢等について、言語外情報を伴って示された語句や表現を読んで、必要とする情報を捉えたり、その意味を推測したりする。 ※音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を読ませる。	イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄(名前や誕生日、日課や思い出)について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合うことができる。	イ 自分や他者の趣味、得意なことなどについて、伝えようとする内容を選んだり順番を決めたりするなど整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	イ 自分のことや身近で簡単な事柄(誕生日、好き嫌い、思い出、中学校でやりたいことなど)について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書き写すことができる。
	ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄(自己紹介、人物紹介、してみたこと、思い出など)について、短い話の概要を捉えることができる。		ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄(好きなこと、好きなもの、持ち物など)について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができる。	ウ 身近で簡単な事柄(学校生活や将来に関することなど)について、伝えようとする内容を順番を決めるなど整理した上で、自分の考えや気持ちなどを既習表現と関連付け、簡単な語句や基本的な表現を用いて、話すことができる。	
第5学年	ア ゆっくりはっきりと話されれば、視覚的な情報を手掛かりにするなどして、自分のことや身近で簡単な事柄(好きなこと、できること、誕生日、学校生活、町など)について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる。	ア 活字体で書かれた文字の形状を識別し、名前の綴りなどの大文字及び小文字を見て、その名称を発音することができる。	ア 初対面の人へのあいさつや自己紹介、買い物、食事、道案内、旅行などの場面で、基本的な表現を用いて指示、依頼をし、それらに対応することができる。	ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄(時刻や日時、場所など)について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、写真やイラストを見せながらメモやキーワードをもとに話すことができる。	ア 活字体の大文字、小文字を4線上に正確に書き写すことができる。また、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。
	イ ゆっくりはっきりと話されれば、視覚的な情報を手掛かりにするなどして、日常生活に関する身近で簡単な事柄(好きなこと、できること、誕生日、時刻、値段など)について、具体的な情報(季節、場所、数など)を聞き取ることができる。	イ ポスターなどの言語外情報を伴って示された語句を読んで、その意味を捉える。 ※音声で十分に慣れ親しんだ語句を読ませる。	イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄(食べ物、着る物、遊び、建物など)について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。	イ 自分のこと(趣味や得意なことなど)について、伝えようとする内容を選んだり順番を決めたりするなど整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	イ 自分のことや身近で簡単な事柄(名前、年齢、時間割など)について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用い、英語で書かれた文を自分が表現したい内容のものに置き換えて書くことができる。 ※置き換える語句は例示する
	ウ ゆっくりはっきりと話されれば、視覚的な情報を手掛かりにするなどして、日常生活に関する身近で簡単な事柄(自己紹介、学校生活など)について、短い話の概要を捉えることができる。		ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄(好きなこと、もの、持ち物、将来の夢など)について、相手の気持ちを意識しながら、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして伝え合うことができる。	ウ 身近で簡単な事柄(あこがれの人や地域に関することなど)について、伝えようとする内容を選んだり順番を決めたりするなど整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	